

YA 人気シリーズ新刊

「ちくまプリマー新書」シリーズ 筑摩書房

あらゆる分野の入門書がそろっています。何か気になるテーマがあれば、まずは“ちくまプリマー”から読んでみましょう。

『はじめて学ぶ環境倫理』吉永 明弘／著 Y519/ヨ

『バッチリ身につく英語の学び方』倉林 秀男／著 Y830.7/ク

『神話でたどる日本の神々』平藤 喜久子／著 Y840/ヒ

『「日本」ってどんな国?』本田 由紀／著 Y302.1/ホ

『はじめての精神医学』村井 俊哉／著 Y493.7/ム

「なるには Books」シリーズ ペリかん社

多種多様な職業や学部、それぞれを目指す人に向けて書かれたシリーズです。興味のある職業や学部の本を手にとってみてください。

『アニメ業界で働く』小杉 真紀／著 Y778.7/コ

『社会福祉学部』元木 裕／著 Y376.8/モ

YA ボランティア 募集中!!

興味のある方は
中央図書館まで
お問合せください



YAブックリスト第47号

令和4年2月発行

稲城市立中央図書館 稲城市向陽台 4-6-18

電話：042-378-7111 FAX：042-378-7162

<https://www.library.inagi.tokyo.jp>

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



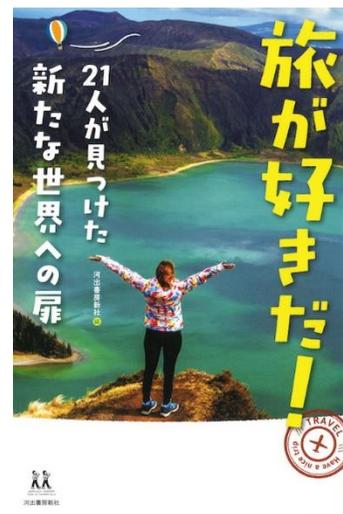
VOL.47

異文化、世界を知ろう

自分の周りだけが世界ではありません。

こんな時代だからこそ、外に目を向けてみてください。

飛び出す準備はいいですか。世界に飛び出せるその日を目指して。



『旅が好きだ! 21人が見つけた新たな世界への扉』
河出書房新社/編 河出書房新社
Y290.9/カ

作家やライター、漫画家等、色々な職業の旅好き21人が旅の魅力を伝える1冊。

旅好きの人が旅に出る理由とは?歴史上の旅人はどんな旅をしていた?

「プロトラベラー」という職業もあるって知ってる?巻末には旅のブックガイドもあります。

『カランバ!アマゾン奥地へ向かう』

高野 潤/著 理論社 Y296.2/タ

アマゾン域に暮らす人々の生活を書いた旅行記。予想をこえる暑さの中での自給自足の生活。いつ襲ってくるかわからない生き物たち。大自然は恵みをもたらす一方、常に危険ととなりあわせ。写真家である著者の写真も楽しめる一冊です。

くらしから見る



『ふるさとって呼んでもいいですか—6歳で「移民」になった私の物語』ナディ/著 大月書店 334.7/ナイランで生まれ6歳で家族と共に来日。在留資格が無く、病院や学校にも行けなかった幼い日々から、イラン系日本人という自分を確立したナディさん。「内なる国際化」について、在留資格の無い外国人について、私たちに語りかけてくれます。

『モンスーンの贈りもの』ミタリ・パーキンス/作
永瀬 比奈/訳 鈴木出版 Y933.7/パ

孤児だった母の故郷であるインドに、休みの間ジャスは家族と共に初めて向かいます。インドの生活に戸惑ったり、アメリカにいる片思いの彼を思ったり、過去の失敗を悔んだり気持ちが不安定になるジャスを、インドのモンスーンが次第に解きほぐしていきます。



『ガーナは今日も平和です。』山口 未夏/著 カナリアコミュニケーションズ
329.3/ヤ

言葉から見る

『わたしの外国語漂流記 未知なる言葉と格闘した25人の物語』
河出書房新社/編 河出書房新社 Y804/カ
裏社会を取材するジャーナリスト、スポーツ選手、文化人類学者、料理人など様々な職業の人が世界各地の言語、文化と格闘した記録です。人の数だけ生き方があ
る。自分はどんな道を行こうと考えるきっかけにもなります。

『なくなりそうな世界のことば』吉岡 乾^{の語る}/著 創元社 801.4/ヨ

社会問題から見る

『グレタ・トゥーンベリ』ヴィヴィアナ・マツツア/著
赤塚 きょう子/訳 金の星社 Y289.3/マ
気候変動が地球に、私たちの未来に、どのような影響を与えるか考えたことはありますか？「わたしたちは生存の危機を前にしているのです。」とグレタは声を上げ、一人でストライキを行いました。行動してほしいと訴えたのです。



『娘に語る人種差別』タハール・ベン・ジェルーン/著 松葉 祥一/訳
青土社 Y316.8/シ
『難民少年』ベンジャミン・ゼファニア/作 金原 瑞人、小川 美紀/共訳
講談社 Y933.7/ゼ

歴史から見る

『ジョン万次郎 海を渡ったサムライ魂』
マーギー・プロイス/著 金原 瑞人/訳 集英社
Y933.7/プ

英語で書かれた世界地図を見て、「地図は・・・招待状のよう」「読めないけれど、“みにこい”と書いてある」と感じたジョン万次郎。江戸時代末期、日本人として初めてアメリカに渡り、後に日米和親条約の締結に尽力したジョン万次郎の数奇な人生をたどります。

『希望の海へ』マイケル・モーパーゴ/作

佐藤 見果夢^{みかむ}/訳 評論社 Y933.7/モ
アーサー・ホブハウスは出生地も誕生日も知らない。この名前が本名かさえも。姉から預かった幸運の鍵を手にも、ひとり戦災孤児としてオーストラリアへ。そこで待ち受けていたものは、ひどい現実でした。幸運の鍵に導かれたアーサーの物語は、娘アリーへと受け継がれていきます。

